

おほつのみこ
大津皇子の宮の侍
おほだちいしかはのいちつめ
石川女郎、
おほとものすくねすくな
大伴宿禰宿奈
まろ
麻呂に贈る歌一首

一二九番

ふる
古りにし
おみな
嫗にしてや
かくばかり
こひ
恋に沈まむ
たわらは
手童のこと

ながのみこ
長皇子、
すめいろど
皇弟に与ふる御歌一首

一三〇番

にふる
丹生の川
かは
瀬は渡らずて
せ
ゆくゆくと
こひいた
恋痛し我
せ
が背
かよ
いで通ひ来ね